

## 学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

### 【全国学力・学習状況調査結果の概要】

#### 成果

数学では、グラフを正しく読み取って適切な解答を選ぶ設問について高い正答率でした。また、数学的な技能を問う設問では、無解答率は低い状況でした。基本的な計算問題に取り組むなど、基礎基本の徹底を図ることが結果に表れたと感じます。

国語では、「書くこと」に関する設問の正答率が高く、自分の考えを文章で書くことに定期的に取り組んでいることが結果に表れたと感じます。

質問紙調査の結果から、「本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館によく行く。」と答えた生徒が多いことが分かりました。これは、国語科での指導に加えて、朝読書など生徒の読書習慣を促進する取組が奏功していると考えられます。これをさらに進め、生徒の言語活動の質の向上につなげたいと考えています。

自分には良いところがあり、学校へ行くのが楽しく、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していると感じている生徒の割合が高いことが分かりました。これからも、一人一人に対して、さらに丁寧に関わることで、生徒の自尊感情がより一層高まり、前向きな姿勢が育成されることを目指します。

#### 課題と対応

数学では、数学的な見方や考え方を問う設問について、式や文章で説明をすることができないため、無解答率が高く、正答率は低いという課題が見られました。日々の授業の中で、まずは基礎・基本の徹底を図り、得られた知識をもとに考え、表現する力を育てたいと考えています。

国語では、「読むこと」に関する設問の正答率が低かったです。特に、文章に表れている「ものの見方や考え方を捉えて自分の考えをもつ設問に関しては無解答率も高く、読解力と表現力を併せて育てる指導のあり方を検討していきたいと思っています。

質問紙調査の結果から、「学校の授業時間以外に平日1日1時間以上勉強する。」「休日1日1時間以上勉強する。」と答えた生徒の割合が全国平均から下回っていることが分かりました。逆に、「平日、1日1時間以上ゲームをする。」と答えた生徒の割合が全国平均を上回っていました。さらに「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。」と答えた生徒の割合は全国平均を下回っています。毎日の家庭学習の時間が少なく、テレビやスマートフォン等のメディアにかける時間が長いのは全国的な傾向ですが、本校生徒にもその傾向が顕著です。学習計画表等を利用した保護者との連携を密に、メディアコントロール週間のさらなる充実を図るなどして、家庭での学習習慣の定着を図り、生徒の自主学習の定着に向けて一層努力していきたいと考えています。

### 【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査では「家で自分で計画を立てて勉強しているか」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、昨年度の2年生（同一集団）との比較で7%近く増えています。また、過去3年間の3年生（異集団）との比較でも10%近く増加しています。ここ数年取り組んできた家庭での「主体的・計画的な学習」の取組が少しずつ結果に結び付いてきたのは喜ばしいことですが、まだまだ定着しているとは言えず、計画的な学習も定期テスト前の期間に限られていたり、課題は残ります。操南中学校区では今年度も引き続き、家庭学習の時間確保を図り、メディアの望ましい利用について考えるための、メディアコントロール週間を幼・小・中合同で実施します。長い期間に渡り中学校区を挙げて取り組み、生徒一人一人の学習習慣の定着を目指します。ご家庭と共に地域の皆様のご協力をお願いします。

## 令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

|      | 教科・質問紙 | 成果   |
|------|--------|--|
| 第1学年 | 国語     | 立場を明らかにして自分の考えをまとめたり、必要な情報を集めて文章を書いたりすることができている。 |
|      | 社会     | 日本の工業における「太平洋ベルト」についてよく理解できている。                  |
|      | 数学     | 整数や小数、分数の基本的な四則計算や、立体の展開図について理解できている。            |
|      | 理科     | 植物の成長に必要な条件について理解できている。                          |
|      | 英語     | アルファベットの読みや基本的な単語の意味などについて理解できている。               |
|      | 学習状況   | 読書の習慣が身に付いており、意欲をもって取り組むことができている。                |
| 第2学年 | 国語     | 漢字の部首名を正しく理解できている。                               |
|      | 社会     | 「国風文化」や「室町文化」などについてよく理解できている。                    |
|      | 数学     | 基本的な一次方程式や比例式を解くことができる。また、「ねじれの位置」を理解できている。      |
|      | 理科     | 顕微鏡を様々な場面で使用し、使い方に慣れ、その使い方を正しく理解することができている。      |
|      | 英語     | 英文を聞いて、内容を理解したり、適切な応答を判断したりすることができている。           |
|      | 学習状況   | I C T機器を活用する授業に慣れており、意欲をもって取り組むことができている。         |

## 課題とその対応

|      | 教科・質問紙 | 課題  | 対応  |
|------|--------|---|---|
| 第1学年 | 国語     | 文脈に即して漢字を読んだり書いたりすることや漢字の筆順、慣用句の理解などに課題がある。 | <p>国語では、文脈に即して漢字を読んだり、書いたりすることや、漢字の正しい筆順や慣用句を正しく理解することに課題がある。今後の授業を通じた改善策としては、漢字の反復学習や文章を繰り返し読み取っていくことで漢字の知識や技能が身に付くよう授業を工夫していきたい。</p> <p>社会では、年表や新聞作成を通して、それぞれの時代の特色を捉えられるようにする。</p> <p>数学では、対応表や資料を読み取る力や問題解決の過程を説明できる力を育てるように指導を改善する。</p> <p>理科では、日常身の回りにあるものについて、普段から関心をもって観察、推測する習慣が身に付くように意図的に問いかけていきたい。</p> <p>英語では、日常や生活に関わる英語表現を運用しながら楽しく取り組める言語活動を工夫していきたい。</p> <p>学習状況については、学習計画を立ててはいるが効率的でない計画である場合が多く、計画の立て方から指導する必要がある。学活や総合的な学習の時間も活用しながら、早期に取り組んでいきたい。</p>   |
|      | 社会     | 中世から近世にかけての、政治や社会の様子を理解することに課題がある。          |   |
|      | 数学     | 比の関係を理解することや資料を分類整理して問題を解決することに課題がある。       |   |
|      | 理科     | 数日後の月の形を推測することに課題がある。                       |   |
|      | 英語     | 基本的な英文、日常動作や生活に関わる英語表現、まとまった英語の聞き取り等に課題がある。 |   |
|      | 学習状況   | 家庭学習の時間が短く、1日あたりの、ネットやゲームに費やす時間が長い傾向がある。    |   |
| 第2学年 | 国語     | 文章の特徴と表現技法について理解することに課題がある。                 | <p>国語では、表現技法を使った作文を書き、自分と他の人の作品とを読み比べたり、根拠を押さえて、文章から読み取ったことを話し合ったりする活動をしていきたい。</p> <p>社会では、歴史年表から各時代を漢字一文字で表すなど時代の特色がつかめる活動をする。世界各地の気候の特色を、グラフと人々の生活を結び付けて捉えさせる。</p> <p>数学では、問題演習を通じて、課題に対する解決力を身に付けられるように指導する。</p> <p>理科では、数学科との連携を図り、基礎的な四則計算の能力・グラフやデータの読み取り能力を伸ばしたい。</p> <p>英語では、「書くこと」に課題が見られるため、「話すこと（やり取り）」の活動をふまえて、やり取りから分かったことを英語で書き表すなど、必要感をもって取り組める活動を意図的に増やしていきたい。</p> <p>学習状況については、計画的な家庭学習の習慣が十分に身に付いていない生徒の割合が依然として多い。各教科における指導のみならず、定期考査前の「学習計画表」の取組の充実など、学級担任による学習指導を徹底し、さらに日常の予習・復習等の習慣を身に付けさせたい。</p> |
|      | 社会     | 歴史の大まかな流れや世界の気候の特色を把握することに課題がある。            |   |
|      | 数学     | 資料の活用や、問題に合わせて式を作ることに課題がある。                 |   |
|      | 理科     | 「質量パーセント濃度」の計算、密度に関する理解に課題がある。              |   |
|      | 英語     | 英語で自分の考えやものごとの説明を書き表すことに課題がある。              |   |
|      | 学習状況   | 家庭学習の時間が短く、1日あたりのネットやゲームに費やす時間が長い傾向が顕著である。  |   |

【保護者・学区の方へのお願い】

本校では、予習・復習など家庭学習の時間が短く、スマホなどでゲームやメール、SNS、ネット等のメディアにかける時間が長いという課題があり、今年度もその傾向は続いています。引き続き、家庭学習の時間確保と定着を目指し、メディアの望ましい使い方について考えるために「メディア・コントロール週間」を実施しています。中学校区を挙げての取組ですので、ご家庭・地域の皆様のご協力がぜひとも必要です。ご家庭で過ごす時間の使い方について、生徒本人とよく話し合い、ゲームや携帯等についてのルールなども決めていただければと思います。家庭学習の定着に向けて、チャレンジ学習や自主勉強ノートなどの取組をしています。基礎学力を確実に身に付けさせるため、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。よろしくお願ひいたします。